

公表:令和 5年 3月 31日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス ほしぞら

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7				できるだけ狭さを感じることはないように工夫を重ねる。
	②	職員の配置数は適切であるか	6	1			現在、基準人員以上の職員配置ではございますが、さらに充実することができるように努める。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	1		見通しを持って目で見えるわかるように工夫を行っている。	改めてお子さん一人一人が理解できることを目指し、見通しを持ちやすい工夫を行う。
業務改善	④	業務改善を進めるための話し合いに広く職員が参画しているか	7			月に4回会議を開催してきた。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			保護者評価を毎年実施し、意向を反映できるように努めている。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			ホームページで公表するとともに、利用保護者には結果を配布している。	
	⑦	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1		療育等支援事業を活用し研修を実施してきた。	年度後半には開催が難しくなってしまったことから定期的に開催できることを目指す。
	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			個別支援計画会議等を実施している。	
適切な 支援の 提供	⑨	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			共通のアセスメントシートを活用している。	
	⑩	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			月に4回の会議で話し合いを進めている。	
	⑪	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			月に4回の会議で話し合いを進めている。	
	⑫	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7			平日と長期休み等で課題を精査し、平日行えない活動を長期休みに行っている。	
	⑬	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			お子さまの状況を踏まえ、個別支援計画を基に行われている。	
	⑭	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			毎朝打ち合わせ等は行われている。	
	⑮	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			記録に関しては毎日行われている。	

	⑯	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			最長を6ヶ月としているが、目標が達成されたお子さまに関しては、時期に関わらず目標の変更を行っている。	
	⑰	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	7			ガイドラインに沿った支援計画を行っている。	
	⑱	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			管理者が出席している。	
	⑲	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7			学校との情報共有や連絡調整等も適切に行っている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7			保護者の同意を得て情報共有をさせていただいている。	
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7				現在放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所に移行したケースがない。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7			療育等支援事業を活用し研修を実施していただいている。また、障がい児地域支援マネージャーに助言をいただくこともある。	
	㉓	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			連絡帳や送迎時に引継ぎを行っている。また、共通認識が持てるように話し合いを密に行っている。伝わり切らない活動に関しては毎日のインスタグラム更新を見ていただけるように働きかけている。	
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援を行っているか	7			必要に応じて事業所内相談支援を行っている。	
	㉕	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			契約時に説明させていただいている。変更があればその都度配布物で周知を行っている。	
	㉖	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			保護者からの相談に関しては、できるだけ早急に回答している。	
	㉗	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			相談を受けた内容に関しては、できるだけ早急に回答できるように努めている。	
	㉘	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			月に1度の通信配布や、毎日の活動をインスタグラムに投稿している。	
	㉙	個人情報に十分注意しているか	7			十分配慮しながら取り扱っている。	

非常時等の対応	③⑩	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			お子さんに応じた対応を心がけている。	
	③⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7			各種マニュアルに関しては、契約時に伝えている。防犯訓練等も実施している。	
	③⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			定期的に火災訓練、非常災害の訓練を実施している。	
	③⑬	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			入職時には必ず虐待防止研修を実施している。また、会議等でも虐待防止に努めている。	
	③⑭	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			身体拘束の要件を話し合い、実施している。また、記録、保護者への説明等も行われている。個別支援計画にも記載している。	
	③⑮	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7			事前の医療状況は必要に応じて聞き取りを行っている。また、変更があった際には保護者の方から窺うことができる。	
	③⑯	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			ヒヤリハットがあった際に共有し、資料としてして保管しスタッフがいつでも閲覧できる状態である。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。